

石神井公園駅周辺地区 まちづくり懇談会ニュース

創刊号

平成 27 年 8 月 28 日 (金) に、第 1 回石神井公園駅周辺地区まちづくり懇談会を開催しました。当日は 60 名を超える方々にご参加いただき、当地区のまちづくりへの関心の高さが伺われる会となりました。当日中にご紹介できなかった、自由意見の内容を取りまとめましたので、お知らせします。今後もまちづくり懇談会を継続し、今回いただいたご意見を参考に、今後のまちづくりの方向性をお示ししてまいります。

●当日の開催概要

日時：平成 27 年 8 月 28 日 (金) 午後 7:00 ～ 8:40

会場：石神井庁舎 5 階第 1 会議室 / 参加者：63 名

- 次第：1. 開会あいさつ・区職員およびコンサルタント紹介
2. 趣旨説明
・みどりの風吹くまちビジョンの紹介
・まちづくり全体構想の到達点について
3. 休憩 (自由意見記入時間)
4. 質疑応答・意見交換
5. 閉会



当日の様子

1. まちづくりに活かしたい石神井の特色

農地

- 農地を守ってほしい。後継者不足はあると思いますが、農業を楽しみたい人は多いので、様々な方法で地域住民が参加できるように協力してほしい。
- 農村風景と農業 ●農

住みやすさ・利便性

- 急行準急停車駅 ●住環境
- 関越への入口 ●住宅街としての住みよいまちづくり
- 高速道へのアクセスが良い～防災への備え

みんなに やさしいまち

- 歩行者優先のまち
- お年寄りの方や子供・女性にやさしい町づくり
- 子育て世帯の増加

都市と自然の両立

- 池袋から 10 分以内、横浜からも 60 分以内で来れる自然豊かな街
- 東京にあつて、豊かな自然を有する点
- 都心に近いことと、公園、寺社、農地が残っていることが両立している
- 石神井公園の自然、歴史的、文化的香り高い街である

まちなみ・商店街

- 駅南口から商店街をぬけて、ポート池まで通じる街なみ
- 石神井公園に向かって、裏通りも含めた商店街があること。高い建物は一つあれば十分。

文化・歴史・観光

- 石神井の文化的まちづくりを大切に
- 文化施設の充実
- 文化人が多い事
- 寺社仏閣の佇まい

- 公園のある街なので、それにふさわしい駅前と道路にして欲しい

公園のある 美しい住宅地

- 練馬らしさを、せめて石神井公園に続く道と街なみを残して欲しい
- 美しい住宅地
- 自然 (緑多き街)
- 緑多いまちづくり
- 石神井公園という緑豊かな素晴らしい公園がある街
- なんと言っても石神井公園との一体化です
- 緑の多い、池のある石神井公園を中心とした、公園の雰囲気まち全体に漂わせた町づくりをして欲しい

石神井公園の自然

- 石神井公園の池、緑 ●公園があり、美しい自然を残している
- 公園の桜やモミジ ●緑豊かな石神井公園
- 石神井公園に惹かれてここに住んだ人は多い。住んでみると色々問題を抱えた地域であると思うが、それにも増して、公園は本当に地域の人々に愛され親しまれ、利用されている。公園を守りながら考える。

- 石神井公園の貴重な自然、深い歴史
- 石神井公園駅の歴史、当時の石神井を愛する人々のこと、名刹など、もっと皆に知って頂きたい。散策に説明必要。
- 観光地としての石神井公園
- 美しい石神井公園の絵葉書を作り、各店舗各役場に置く

2. まちの課題、改善すべき点

まちの個性不足

- もっと個性的な特徴のあるまちにしたい

コミュニティの希薄化

- ワンルーム賃貸の増加による住民意識の無い人の増加

商店街の活力低下・補助 232 号線への心配

交通問題・回遊性の不足

- 歩行者の安全性確保
- 道路の幅員や道路の回遊性が不足しているので、よりいっそう幹線道路の早期整備が必要
- 外環自動車道の完成とのリンクを考えた地元道路整備
- 細い道をバスが走っていること
- 高齢者や車椅子で買い物に行けない
- 公園通り（道幅狭すぎる、危険）
- いまある富士街道、大泉街道は自転車を通るには危険である。まずこの道を広くして欲しい。
- 危険な富士街道の改善・改良を！
- 石神井地区は狭い道路が多く（自動車の）対面交通が大変危険である。道路の一方通行化を進めて欲しい。

- メインのバスの通る商店街が、狭い。
- 商店街の錯綜した交通状態の緩和を！
- 南口商店街の交通整理（子供が歩けない！）
- 道幅はより広い方がよい。アーケードは…？

●高架の下にお店が出来て、人の流れが変わりつつありますが、その流れを我々商店街にいかに入力するかが今後の最大の課題

●各商店個々の連帯感と意識の改革

●生活に必要な店がなくなってきた

●商店街店舗の家賃上昇により、商店街が必要としている店が出店できず、チェーン店（夜間営業の）ばかり出来てきている。

●商店街の活性化（公園までの両側・公園周辺）

●232 号は必要か？

●232 で駅と商店街が分断されてしまう。人がスムーズに通れる様に工夫が必要です。

南口西地区再開発への心配

- 高層ビルは必要ない（最低！）
- これ以上高層ビルが必要であるか？
- 石神井公園の自然な緑と高層ビルばかりの都市化は釣り合いです

- 高層ビルのビル風はどのように対処するのですか。

ビル風の発生

- ピアレスやプラウド等、高層ビルのため、ビル風等の問題が起きている。
- ピアレス、西口、富士街道と面した高層マンションなど高い建築物によるビル風

防災の不安

- 防災に対して、脆弱で建物の耐震性、防火性に関して弱い
- 地震災害等の時の避難経路等の対策
- アパート、マンション、都営住宅など共同住宅が多すぎると思う。直下型地震などの避難時、混雑するのではないか。

環境美化

●建物でも道路でも、作るのが目標のようで、その後の管理の悪さが気になります。家のまわりは自分でするのが当然ですが、道路や公園の美化に配慮して欲しい。年配者がたくさんいるのですから、何か考えてみては？

●歩きタバコをなくす

●タバコのポイ捨てをなくす

都市計画事業の進捗が遅い

- 地区計画、目標はすばらしいが…（改善等スปีト UP）

駅南口の発展不足

- 駅の北側は、広場もでき、飛躍的に発展したが、南側はその逆だと思う。駅の中央玄関そのものが以前より遠くなり、困っている住民もいると思います。

緑の不足

- 石神井公園駅前広場にはほとんど植樹がされていない

3. まちに必要なもの、まちづくりに必要なこと

商店街の活性化

- 商店街の復活とにぎわい
- 個人経営商店の活性化・量的拡大
- この街に来られて買うものがないと言われるのが辛い。物販店が少なく、流動的な飲食店が余りにも多い。テナント店は商店街に対する貢献がない。入店の際貸主から貢献を約束して欲しい。
- 一般庶民が好むミスタードーナツや喫茶店、ユニクロその他のお店が石神井公園にないのは何故？
- まちの活性化をはかる意味でも、大型商業店舗の導入を検討して欲しい

- 最近相次いで文房具店、書店が姿を消し、どこにでもあるようなコーヒー店、食べ物屋が台頭してきている。もっと石神井らしい商店街が欲しい。
- もう少し町に合った飲食店を増やす

- 商店街の方々の意気込みを期待したい。2代目、3代目の人が商店を引き継がず、チェーン店に貸してしまう。空地もあるのはなぜだ？

- 出店する際の条例とか早期に準備することが必要

- 自然(緑)に合った飲食店を増やす

街の魅力向上

- 街のブランド化(例:吉祥寺)
- 公園を中心とした街づくり
- 補助232号線の整備に伴い、魅力ある街になるように、住民の協力が必要と思います

緑の創出

- 街路樹(高木)以外によるみどりの創出
- 緑を増やす

駅前の顔づくり

- 子供たち、孫達までもくらしやすく、自慢が出来るまちづくりが必要。特に駅前の開発が重要です
- 石神井公園の駅周辺はビジネスの拠点でもあると思うのですが、民間のビジネスが活性化するための条件は…？
- 駅前には、出来るだけ低層の共同化ビルを(地区計画で定めた高さ35m、11階以下で)
- ビル風のない、また景観に優れている街

歩行者優先の環境整備・バリアフリー化

- 商店街は歩行者専用とすべき(店舗の仕込み時間を除く)

- 道路路面の整備

- 駅アクセスのための道
- 横断歩道を早く確定し、安全な通学路を確保してもらいたい

- 子供でも安全に歩ける道作り

- ゆったりと歩ける遊歩道
- バリアフリー化

- お年寄りや子供にやさしい町づくりを考えてもらいたい
- 子どもや、老人達にやさしい、住みよい、交通安全第一の街
- 安全な歩道、通行路の道路計画を決定していただきたい
- 安全・安心な街とは？車優先の考え方は捨てるべきですあくまでも人が優先されるべきです

- 歩行者が安全に移動できること

- 道路の整備による防災への備え

防災・防犯力向上

- 防災、救助方法等々…
- 防犯カメラを出来るだけ多く各地域に設置する事

公園の保全・環境美化

- 公園のさらなる充実 ●美化(池の水質を綺麗に)
- 公園と美しい自然。もっともっこの美しさを保護すべきだと思う
- 石神井公園という貴重な自然環境を、より大切に守り、より綺麗に整備して、より多くの人々に知らしめる事!

自転車交通環境整備

- 自転車交通(歩行者と自転車の分離、利便性の高い駐輪場)
- 道路整備(歩行者、自転車)

多世代交流の場づくり

- 若者と高齢者がゆっくりできる場所づくり
- 小さな空き家を借り上げて、お年寄りや子供が安全に過ごせる場所づくりをしてみたい。協力してもらえるような体制はあるのでしょうか？
- お年寄りの為にふれあう場所を作ってほしい

- これから更に高齢者が増えることを考えると、高齢者が歩きやすいまちとすべきだと思います。(お休み処、トイレ・ベンチ、多世代交流を可能とする場の提供)

- 高齢化する住民と、外から来る人の住み良さ

コミュニティづくり

- 石神井公園を中心しつつ、住民の活発なコミュニティをつくる
- 人のつながり
- 地区の人口増

住民参加の仕組み

- 住民参加の仕組み(インターネット等の活用)
- 人々が永年住んで作りあげたまちに、住民を苦しめるまちづくりプランを計画しないこと。地図上の計画線より、まちに住んでいる人の声を最優先することが必要。

文化・スポーツ施設整備

- 公園はあるが、例えば日比谷公会堂のようなホール(イベント会場)がない。
- みどりの風吹くまちの構想は良いと思うが、公園に憩うだけでなく、スポーツ、文化面の施設の検討も必要ではないか
- 文化ホールや音楽ホールなど
- 自然と文化というが、文化とは人々の織りなすつながりが一番大事だと思う。大泉には劇場もあるが、石神井公園にも人々がつながりを持てる劇場(小さくてもよい)を是非作りたい。
- 行政施設の更新と充実の新設を

生活の質の向上

- 人口の増加がまちづくりの目標や目的ではないと考える。生活の質の向上にさらに力を入れるべき。

子育て支援施設

- 子育て世代のための、赤ちゃん、子供をあずかる施設
- 子育て世代が周辺に多数居住するようになるといいな、と思います(まちが元気になると思います)

4. 自由意見（まちづくりへの要望や質問など）

商店街について

- 商店街をアーケードにすべきである

駅前について

- 駅前には石神井公園の顔です。西武ももっと駅前をそのムードにしたい。

第1回の説明内容について

- ビジョン、計画に対して、明確な時間設定をしてもらいたい
- みどりと一言でいっているが、具体的にはなんだろう。公園の絶滅危惧種の植物や昆虫、渡り鳥、みんなが大事にしてきた環境をもっと大事に考えて…

まちづくり懇談会について

- 19:00～20:40という開会時間では、子育て世代や学生は参加しづらい
- 事前に議案や資料を提示してほしい

南口西地区再開発について

- 高層住宅は建築させない
- 再開発を活性化のきっかけとしたい。
- 駅（南口）前にあるビル建設は街の活性化に必要。旧態依然の街並みでは発展は望めない。
- すでにある高層ビルは壊す訳にはいかないと思うので、これ以上高い建物は不要
- みどりを増やすというのは良いが、今あるお店や大鷲神社などへの影響はどうなるのか
- 建替えの要件見直しと言うが、高いビルだらけになるのだろうか。それは好ましいものなのか？

- 総論だけでなく、現在現実に起きている、232号線や都市再開発事業に対して、きちんと説明していただきたい。

まちづくりの進め方について

- もっとスピーディーに
- 区と住民との定期的な会合が必要です。商店街も入れて下さい。
- 地元商店・企業の関わり、参加
- 道路優先から、まちづくりのソフト優先にすべき

医療・環境について

- 住民にとって分かりやすい医療環境づくり
- 災害時医療対策の具体的検討
- 歩きタバコパトロール隊の導入

補助232号線について

- 大きい道路でまちが分断されないこと。
- 現在の南側駅前商店街の有り様が、練馬らしさがあり、とても気に入っています。132号ができることによって、バスの通過もなくなるのであれば、このごちゃごちゃした店並びは、買い物をする者にとって魅力です。今のままの形を残して欲しい。大きな道路は街に住む者にとって不便です。これ以上整備しないで下さい。

コミュニティについて

- 子供が自由に遊べる街、お年寄りが安全に過ごせる街
- 公園内にある各広場でイベントの開催を
- 人口の高齢化するとき、シニア層が元気に生活していく上で、街に何があると良いと思いますか。
- 昔からの農家、農村住民のコミュニティと、新しく“街”の住人として暮らしている人々との一体化したコミュニティを創れたら良いと思う。（市民運動とは逆のベクトル）

その他

- わかりやすい地図
- 地区計画について

補助132号線について

- 132号線は本当にこの位置が良かったのか疑問です。線路から神社、団地横に通して、公園に曲げれば良かったと思う。もう亡くなられたような方が、何十年も前に考えたんじゃないかとうんざり。

質問事項（一部再掲）

- 南口西地区市街地再開発事業施行への支援をしていますが、「地区計画」の中で“前面道路の幅員による容積率制限や道路斜線制限が緩和されます”とありますが、どこまで緩和されるのか。
- 高層ビルのビル風はどのように対処するのですか。
- 建替えの要件見直しと言うが、高いビルだらけになるのだろうか。それは好ましいものなのか？
- みどりを増やすというのは良いが、今あるお店や大鷲神社などへの影響はどうなるのか
- 132号の進捗状況はどうなっているか？いつ完成するか？
- バスルートはいつ補助132号線に移るのか。
- 132、232号の街路灯、街路樹はどうなっているのか。住民の声を！
- 西武の開発と地元商店街との関係はどうなっているのか。
- 小さな空き家を借り上げて、お年寄りや子供が安全に過ごせる場所づくりをしてみたい。協力してもらえるような体制はあるのでしょうか？
- 石神井公園駅に、観光案内所が出来るのはいつ、どこに？
- 高齢化するとき、シニア層が元気に生活していく上で、街に何があると良いと思いますか。

◆まちづくり懇談会ニュースは、練馬区公式ホームページに掲載しております。（<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/shakujiji/>）また「石神井庁舎1階多目的ホール」「ピアレスA棟2階石神井区民交流センター」「区役所本庁舎16階西部地域まちづくり課」でも配布しております。

◆質問事項への区への回答、アンケート結果、当日の質疑応答の概要については、第2回開催案内と一緒にお示しします。（10月中旬頃予定）

お問合せ

練馬区都市整備部西部地域まちづくり課（担当：鈴木・青山・松下）

電話（直通）：03（5984）1278

FAX：03（5984）1226

E-mail：SEIBU03@city.nerima.tokyo.jp